

2014年度 前期				リフレクションペーパー			
学科名	情報学科						
科目名	情報社会と倫理						
科目区分	専門科目(情報学科)		単位数	2	開講時期	前期	
必修・選択の別	選択科目(情報学科)						
担当者	森 正壽						
授業の到達目標 (シラバスから)	・情報化社会について概要を理解する。 ・情報社会における情報の流出と法との関係を理解する ・情報化社会がもたらす人権侵害について考察する。 ・モラルハザードについて全般的な認識をもつ。 ・ユビキタス社会の是非と今後到来が予想される高度情報化社会での人権確保を検証する。						
日程と内容	4月 9日・1. 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、情報化社会とは 4月16日・2. 情報化社会について概要(1)―「文明」と「文化」の違い(1) 4月23日・3. 情報化社会について概要(2)―「文明」と「文化」の違い(2) 4月30日・4. 三つの「情報化」(1)コリン・クラーク 5月 7日・5. 三つの「情報化」(2)ダニエル・ベル 5月14日・6. 増田米二の情報化社会 5月21日・7. 梅棹忠夫の「情報産業論」 5月28日・8. 臨時試験 6月 4日・9. 林 雄二郎「情報化社会論」、マクルーハン「電子メディア論」 6月11日・10. トフラー「第三の波」 6月18日・11. ポスト情報化社会と危機管理 6月25日・12. ネットワーク犯罪―映像からみる 7月 2日・13. 情報化社会に必要な倫理と法 7月19日・14. 期末試験に向けた復習と総括 7月16日・15. 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	20%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	10%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	「授業の内容は理解できましたか。」で3. 8となっており、ほぼ理解できたものと判断される。						
反省点	総合評価で、8. 1となっており、ほぼ満足できる結果となっている。						
来年度の計画	来年は、さらに合格率アップを目指したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	「わかりやすい」「楽しかった」などと、前向きの記述が多く、今後さらに理解しやすい内容を目指す予定である。						
履修登録者数	31 名	定期試験 受験者数	25 名	合格者数	19 名	合格率	76%